



総合百科事典ポプラディア (2002年刊行)



ポプラディア情報館



ポプラディアネット



総合百科事典ポプラディア 新訂版 (2011年刊行)

POPLAR ENCYCLOPEDIA
Interest Question Study Development

こどもたちの 学びを ささえる

ポプラディア シリーズ

こどもたちが調べる力を身に付け、
自ら考えることができるようになるために。

新聞、テレビ、インターネットなど、数多くの情報の中から自分が本当に知りたいことを見つけるためには、高いメディアリテラシーが必要です。ポプラディアは、専門家が監修した正確で信頼できる情報を、やさしい文章とわかりやすい紙面で伝えているので、調べることに慣れていないこどもたちでも安心して調べることができます。また、ピンポイントで調べたい時にはインターネットでの検索が便利ですが、自ら知識を発見しながら興味を広げていくには、紙のほうが適しています。こどもたちにとってまず必要なのは、自分の力で調べることの楽しさを知ることです。その基本を身に付けることができるのが、百科事典です。「調べるときはまずポプラディア」という学校からの信頼に、ポプラディアは応えます。

- ### ポプラディアシリーズのあゆみ
- 2002年 3月 『総合百科事典ポプラディア』(全12巻)刊行 ★第4回「学校図書館出版賞大賞」受賞
 - 2003年 9月 雑誌『月刊ポプラディア』創刊
 - 2004年 11月 『総合百科事典デジタルポプラディア 2005』(DVD版)刊行
 - 2005年 2月 『総合百科事典ポプラディア プラス1 -2005 補遺-』刊行
 - 4月 『ポプラディア情報館』シリーズ刊行開始
 - 4月 『ポプラディア学習帳』シリーズ発売開始
 - 11月 『総合百科事典デジタルポプラディア プラス1 2006』(DVD版)刊行
 - 2006年 11月 『総合百科事典デジタルポプラディア プラス2 VOICE』(DVD版/音声認識対応)刊行
 - 11月 『ポプラディアネット』(インターネット版)サービス開始
 - 2011年 1月 『総合百科事典ポプラディア 新訂版』(全12巻)刊行
 - 1月 『ポプラディア情報館』シリーズ(全50巻)完結
 - 2012年 11月 『ポプラディア大図鑑WONDA』シリーズ(既刊16巻)創刊
 - 2017年 1月 『ポプラディアプラス 人物事典』刊行
 - 2018年 4月 『ポプラディアプラス 仕事・職業』刊行
 - 2019年 4月 『ポプラディアプラス 世界の国々』刊行 ★第21回「学校図書館出版賞大賞」受賞
 - 2020年 4月 『ポプラディアプラス 日本の地理』刊行
 - 2021年 11月 『総合百科事典ポプラディア 第三版』(全18巻)刊行(予定)



ポプラディア大図鑑WONDA



ポプラディアプラス 人物事典



ポプラディアプラス 仕事・職業



ポプラディアプラス 世界の国々

10年ぶりの全面改訂。 30,000項目以上収録。



2021年11月 刊行決定!

総合百科事典 ポプラディア 第三版

POPLAR ENCYCLOPEDIA
Interest Question Study Development

- 監修 (五十音順)
- 秋山 仁 (東京理科大学理数教育研究センター長)
 - 今泉 忠明 (動物科学研究所所長)
 - 大石 学 (東京学芸大学名誉教授)
 - 西本 鶏介 (昭和女子大学名誉教授・評論家)
- 活用指導
- 鎌田 和宏 (帝京大学教育学部教授)
- 全18巻(本編16巻、索引1巻、学習資料集1巻)
 揃予価: 揃本体120,000円(税別) ※分売不可

全国の小中高等学校35,000校で使われているポプラディア

最も信頼されている小中高校生向け百科事典。

『総合百科事典ポプラディア』は、2002年の刊行以来、最も信頼できる小中高校生向け書籍版百科事典として、全国の学校および公共図書館で活用されています。ポプラ社は、ポプラディアを使った出張授業および研修会を年間150回以上実施し、ひとりでも多くの子どもたちが百科事典を使った学習を行えるように支援しています。

2020年度から使用される新教科書にも掲載。

2020年度には、小学校で「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）を柱とする新学習指導要領が施行されます。子どもたちは自ら調べ、わかったことを説明する活動を求められるようになり、百科事典の利用機会は一段と増えると考えられます。新教科書の小学校3、4年生「国語」の「百科事典での調べ方」の単元では、百科事典の使い方がポプラディアの書影や本文ページの写真入りで説明されています。



▲光村図書「国語」4年下 P.52より（令和2年発行）。



▲東京都荒川区立第三日暮里小学校での、ポプラディアを使った4年生の授業。子どもたちは意欲的に自分の興味のある項目を調べ、発表している。授業後のアンケートでは「楽しかった!」「また調べたい!」という感想が多く寄せられる。

▶ポプラ社は、ポプラディアで調べた内容を発表するためのワークシートも配布している。

先生・司書のための「ポプラディア研修会」

ポプラ社では、先生や司書の方々向けの、ポプラディアを活用した授業の研修会も行っています。研修後は、先生・司書の方々が自らポプラディアを使った授業や利用指導を行っています。

約6,000の新規項目を追加。造本、紙面体裁を全面見直し。

第三版では、「プログラミング」「SDGs」などの新学習指導要領関連語や新教科書掲載語から、「4K・8K放送」「東京オリンピック（2020年）」などの時事用語まで、約6,000の新規項目を追加します。また、本文を総ルビにし、さまざまな学習レベルの子どもに対応。さらに、先生や司書など学校現場の方々からの意見を積極的に取り入れ、造本や紙面体裁などを全面的に見直すことで、あらゆる子どもが等しく使いやすい百科事典を目指します。

ポプラディア新訂版(2011年刊行)とポプラディア第三版(2021年刊行予定)の比較

	ポプラディア新訂版(2011年刊行)	ポプラディア第三版(2021年刊行予定)
巻数	全12巻 (本編11巻・索引1巻)	全18巻 (本編16巻・学習資料集1巻・索引1巻)
1巻あたりの重さ	1,530g	980g
総ページ数	3,500ページ	4,700ページ
1巻あたりのページ数	304ページ(本編)	256ページ(本編)
総項目数	24,500項目	30,500項目
新規項目数	1,500項目	6,000項目
本項目数	22,500項目	27,000項目
索引項目数	50,000語	60,000語
定価	98,000円(税別)	120,000円(税別) ※予価

※内容は変更になる場合があります。

使いやすい① 軽くて持ちやすい

これまでのポプラディアには、先生方から「1冊が重くて、子どもには使いづらい」という声が多くありました。そこで、第三版では、印刷の品質はそのままに薄くて軽い紙を採用。さらに1巻あたりの平均ページ数を減らすことで、重さは従来の約3分の2になります。

▶軽量化により約500g=500mLのペットボトル1本分軽くなる。

使いやすい② 文字が読みやすい

文字の形がわかりやすい「UD(ユニバーサルデザイン)フォント」を本文に採用し、ロービジョン(弱視)やディスレクシア(読み書き障害)の子どもにも配慮した読みやすい紙面にします。また、配色にはカラーユニバーサルデザイン(CUD)を取り入れ、図版も見分けやすくなります。さらに、視覚の過敏なアーレンシンドロームの子どもにも配慮したやわらかい色の紙を使用します。

山追令さ

▲モリサワ「UDデジタル教科書体」。学習指導要領に準拠した字形になっているとともに、線の太さの強弱を抑えているので読みやすい。

使いやすい③ 解説がわかりやすい

ポプラディアで調べる子どもたちの興味は、各教科に関するもの、身の回りに関するもの、時事問題に関するものなど、さまざまです。第三版では、子どもたちの「興味」と「調べる動機」に寄りそって、既存の項目もすべて見直し、よりわかりやすい解説を目指します。

▶低学年から人気の項目の例。内容の理解に必要な情報をわかりやすい表現で解説します。

※画像は新訂版の紙面です。

第三版は「あらゆる子どもにとって、使いやすい百科事典」です。